

# 森林経営管理制度を踏まえた市町村支援について ～岐阜署における民有林支援の取組～

岐阜森林管理署 主任地域林政調整官 ○<sup>まつした</sup>松下 <sup>やすひろ</sup>康弘  
下呂市 林務課 主任主査 ○<sup>こいけ</sup>小池 <sup>のりかず</sup>徳一

## 要旨

間伐等の森林整備と人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等に活用できる森林環境譲与税が創設され、森林所有者が管理・経営できない森林について市町村が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐ森林経営管理制度が始まり、市町村による一層の森林整備推進に向けた取り組みが期待されているところです。

そこで、市町村林務担当職員の知識や技術力の更なる向上に役立ててもらうため、岐阜森林管理署が取り組んでいる民有林支援について報告します。

## はじめに

岐阜森林管理署管内には飛騨川、長良川、揖斐川の3流域の森林計画区があり、32市町村が所在する広範囲を管轄しています。

管理している国有林野面積は官行造林地（2,008ha）を含めて約38,500haになります。

管内の32市町村のうち10の市町村に国有林が所在し、市町村別の国有林面積の割合は、下呂市が60%と多くを占め、続いて揖斐川町の14%、本巣市の13%、郡上市と七宗町が4%となっており、その他の市町村は1%となっています。

国有林の60%が所在する下呂市は、岐阜森林管理署が所在する市町村でもあり、民国による連携を強化していく必要があると考えています。



図1 国有林が所在する市町村

表1 市町村別の国有林野

市町村名	国有林野面積 (ha)	比率 (%)
下呂市	22,027	60
東白川村	404	1
七宗町	1,512	4
岐阜市	198	1
美濃市	207	1
山県市	512	1
関市	329	1
郡上市	1,325	4
本巣市	4,720	13
揖斐川町	5,243	14
合計	36,476	100

# 1 森林共同施業団地の取組

岐阜森林管理署管内では5つの地域で森林整備推進協定を締結しており、協定に基づく6つの森林共同施業団地を設定し、民国が連携した森林整備や路網の整備に取り組み、林業の生産性向上や林業事業者の育成・強化を民国一体となって推進しています。

また、民国が連携して円滑に事業を進められるように、毎年、協定地域ごとに運営委員会を開催し、前年度の事業実績や当年度の事業予定などについて情報交換を行い、事業の調整を図っています。



図2 森林共同施業団地位置図



写真1 運営委員会（下呂市小坂町北東地区）



写真2 運営委員会（東白川村新

## (1) 新築 共同施業団地

東白川村の「新築共同施業団地」は、岐阜森林管理署管内で初めて協定を締結した地域です。

平成24年3月に東白川村、岐阜県可茂農林事務所、東白川村森林組合と協定を締結しました。団地面積は581haで民有林は全て村有林です。

また、国有林側、村有林側ともにサントリーホールディングス株式会社と森林整備活動等に関する協定を締結しており、「サントリー天然水の森」として森林整備等の活動が行われている地域でもあります。

この団地では、国有林と村有林の路網を接続し連携を図りながら間伐事業を行っているほか、各種研修等のフィールドとして利用されるなど、林業技術の普及にも貢献しています。

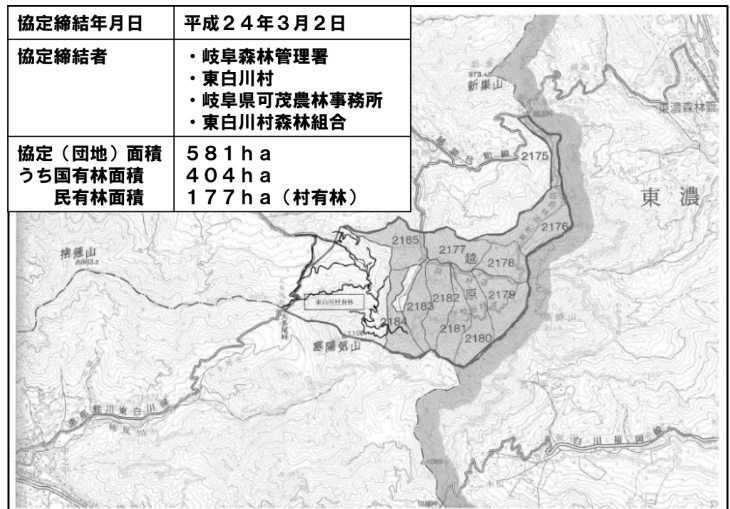


図3 新築森林共同施業団地区域図

## (2) 小坂町 北東 地区共同施業団地

下呂市の「小坂町北東地区共同施業団地」は、平成26年3月に下呂市、岐阜県下呂農林事務所、小坂町森林組合、森林整備センターと協定を締結しました。団地面積は5,227haで民有林は下呂市有林、森林整備センターの分取造林地、私有林、県行造林地となっています。

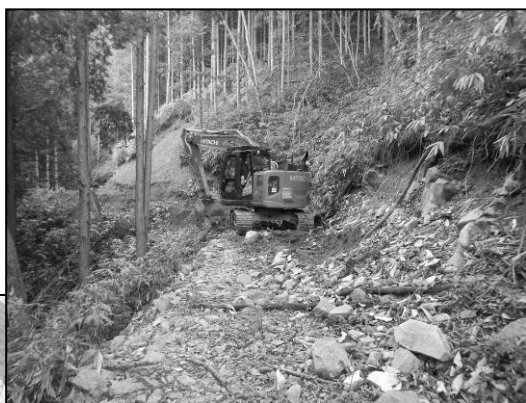
この団地では、民国間で森林施業や路網整備の時期を調整しながら、計画的・効率的に事業を実施しており、国有林内の路網から民有林への作業道の延長も計画しています。

また、各種現地検討会や研修会のフィールドなどにも利用しています。

平成26年度から28年度までは、国有林の事業において3カ年契約による民間競争入札(市場化テスト)を導入して効率的な路網整備等にも取り組みました。

また、平成29年度は、将来的に民有林へ延長できるように森林組合と検討しながら、国有林内に作業道を開設しました。

今後、この作業道を延長して民有林側で作業道を開設する予定であり、令和4年度は森林組合が国有林内の既設作業道の補修を行いました。



作業道の補修 (令和4年度)

協定締結年月日	平成26年3月24日
協定締結者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜森林管理署</li> <li>・下呂市</li> <li>・岐阜県下呂農林事務所</li> <li>・小坂町森林組合</li> <li>・森林整備センター</li> <li>・岐阜水源林整備事務所</li> </ul>
協定(団地)面積	5,227ha
うち国有林面積	2,797ha
民有林面積	2,430ha
(市有林)	(220ha)
(森林整備センター)	(280ha)
(私有林)	(1,894ha)
(県行造林)	(36ha)



図4 小坂町北東地区共同施業団地区域図

### (3) その他の森林共同施業団地

その他の森林共同施業団地として、「七宗町上麻生地区」、揖斐川町にある「榎原谷地区」、「郡上市白鳥・高鷲地区」は、旧白鳥町と旧高鷲村全域が協定区域となっており、協定区域内に「高鷲町鮎立地区」と「白鳥町六ノ里地区」の2つの森林共同施業団地を設定しています。

これらの団地についても、民国で連携を図りながら森林整備や路網整備に取り組んでいるところです。

表2 共同施業団地の一覧表

協定名	協定締結年月日	協定締結者	団地名
七宗町上麻生地区 (2,981ha)	平成27年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜森林管理署</li> <li>七宗町</li> <li>七宗町上麻生財産区</li> <li>岐阜県森林公社</li> <li>可茂森林組合</li> <li>岐阜県可茂農林事務所</li> <li>森林整備センター</li> <li>岐阜水源林整備事務所</li> </ul>	七宗町上麻生地区 (2,981ha)
榎原谷地区 (507ha)	平成30年2月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜森林管理署</li> <li>榎原谷林野組合</li> <li>揖斐川町</li> <li>池田町</li> <li>岐阜県揖斐農林事務所</li> <li>揖斐森林組合</li> <li>森林整備センター</li> <li>岐阜水源林整備事務所</li> <li>株式会社岐阜緑地</li> </ul>	榎原谷地区 (507ha)
郡上市白鳥・高鷲地区 (25,422ha)	平成31年2月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜森林管理署</li> <li>郡上市</li> <li>岐阜県郡上農林事務所</li> <li>郡上森林組合</li> <li>森林整備センター</li> <li>岐阜水源林整備事務所</li> </ul>	郡上市高鷲町鮎立地区 (482ha)
			郡上市白鳥町六ノ里地区 (546ha)

## 2 各種現地検討会への市町村職員等の参加

### (1) 伐採・造林一貫作業システム現地検討会

国有林が実行・推進している伐採・造林一貫作業システムについて、令和4年度に郡上マネジメント協議会から現地視察の要望があったため、岐阜森林管理署の主催により「伐採・造林一貫作業システム現地検討会」を開催しました。

岐阜県郡上農林事務所、郡上市、郡上森林マネジメント協議会、郡上森林組合の関係職員に中部森林管理局及び岐阜森林管理署の若手職員も加わり総勢22名が参加しました。

はじめに岐阜森林管理署会議室で座学を行い、作業システムの概要、国有林の導入状況、コスト削減のポイント、コンテナ苗の特性、造林の省力化と効果、留意事項などについて説明しました。

その後、下呂市にある落合国有林の現場でヒノキ104年生、7.2haの皆伐地を見学しました。



写真3 座学の様子

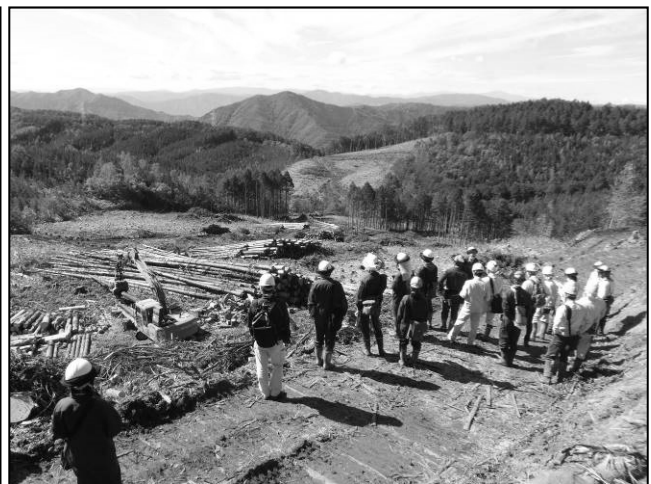


写真4 皆伐地見学の様子

造林の現場では、「皆伐跡地に残った枝条の整理や処理方法」、「防護柵の豪雪地域での強度等の対応策」「防護柵が損傷し、シカ等が入った時の対処方法」、「食害防止の単木保護と忌避剤の比較」などについて質問を受け、意見交換を行いました。



写真5 皆伐地見学の様子



写真6 皆伐地見学の様子

## (2) ニホンジカ食害防除対策現地検討会

ニホンジカの被害には民国の区別はなく、岐阜森林管理署においても、防護柵の設置や罠による捕獲駆除等を実施しています。

これらの取組状況などについて、情報を共有し、意見交換を行うことにより、より効果的な対策を行うことを目的として、毎年、森林技術・支援センターとの共催によりニホンジカ食害防除対策現地検討会を開催しています。

令和4年度は、岐阜県、郡上市、白川町、関係事業者、森林管理署の職員など総勢42名が参加しました。

午前中は、七宗町の<sup>かぶち</sup>神淵コミュニティセンターで屋内検討会を行い、岐阜県森林研究所から講師を迎え、ニホンジカの生態や林業被害の状況、主な食害防除対策など「ニホンジカ対策の現状と課題」についてご講義いただきました。

また、中部森林管理局から「局管内における獣害対策の取組等」について説明を行いました。



写真7 岐阜県森林研究所の講義



写真8 中部森林管理局の説明

午後からは、七宗町上麻生地区森林共同施業団地内の七宗国有林に設置している「獣害対策展示エリア」で現地検討会を実施しました。

このエリアには、囲い罠（大・小）、箱罠、幼齢木保護資材各種、防護柵各種などを展示しており、実際に囲い罠での捕獲も行っています。

現地では、各施設を見学しながら、囲い罠や箱罠の仕組みや捕獲実績、幼齢木保護資材の種類毎の効果や課題、各種防護柵の特徴、大型の囲い罠では参加者に内部の様子を見てもらい、その構造やシカが中に入った場合の処理方法などについて説明を行い、参加者間で問題点や対策についての情報共有と意見交換を行いました。

また、くくり罠等を展示し、狩猟免許を持った岐阜森林管理署の職員による、くくり罠の設置の実演や保定具の使い方の説明なども行いました。



写真9 獣害展示エリアを上空から見た様子



写真10 囲い罠の見学



写真11 くくり罠等の展示・実演

### 3 市町村職員の森林整備箇所への同行

下呂市から、森林整備の現場経験が少ない職員の知識や技術の向上を図るため、間伐事業の現地検査等へ同行してほしいとの要望があり、令和3年度は1名、令和4年度には3名の下呂市の林務担当職員が間伐事業の現地検査に同行し、検査の様子を見学してもらいながら、現場の見方や検査方法などについて説明を行いました。

また、令和5年度は収穫調査に1名が同行し、一緒に調査を実施しながら、調査手法について説明を行いました。

今後も下呂市と連携を図り、職員のスキルアップに協力していきたいと考えています。



写真 12 令和3年度（位山国有林）



写真 13 令和4年度（高天良国有林）

### おわりに

今後も、このような支援に取り組みながら、「県や市町村等の民有林が必要としている各施業の見本となるような事業の紹介」、「試験地の貸し出しや研修会等への参加の呼びかけ」を更に幅広く行い、民国連携の更なる強化に努めていきたいと思います。